

第 89 回 八岐大蛇か、雪女か

IT生

物質の相が、ある条件のもとに、別の相として現れることを「相転移」というのだそう。

この現象を自然災害の諸相にあてはめ、その真の恐さをするべしと警鐘を鳴らしているのが、関西大の河田恵昭・特別任命教授である。

今年は、この相転移が水害、雪害の顔をもって現れた。9月には台風14、15号による水害。今月は北陸～東北にかけて豪雪となった。総務省消防庁の調べでは、台風14、15号で死者は8人、雪害は12月26日時点で17人となり、台風を大きく上回った。



今年は台風の被害を大きく上回った雪害が一年を象徴する自然災害となった

台風も雪害も早いうちから警報が発せられていた。水害は日常的に災害対応が定着しつつあるが、どうも雪害は一部の地域に限られるためか、全国が被災地となる台風ほどの危機感が醸成されにくいのだろうか。

しかし、水害も雪害も自然災害であることに変わりはない。

八岐大蛇（水害）も雪女（雪害）も古来人間にとって脅威となってきた。

来年は、関東大震災から100年である。関東大震災は火災が多くの死者を生んだ。

平成7年の阪神大震災は建物倒壊が主な災害死の原因となった。平成23年は津波が死因のほとんどを占めた。3つの大震災は相転移現象が明確にでた。

次の大震災はどのような相をもつのか。

来年は、じっくり腰を据えて、考えてみるべき時だろう。

寅年の寺田寅彦師は、今年（寅年）に学び、来年の兎年に飛躍せよ、とうそぶいているのかもしれない。

（令和4年12月）